

オフシーズンを利用した 船の点検・整備を行いましょ



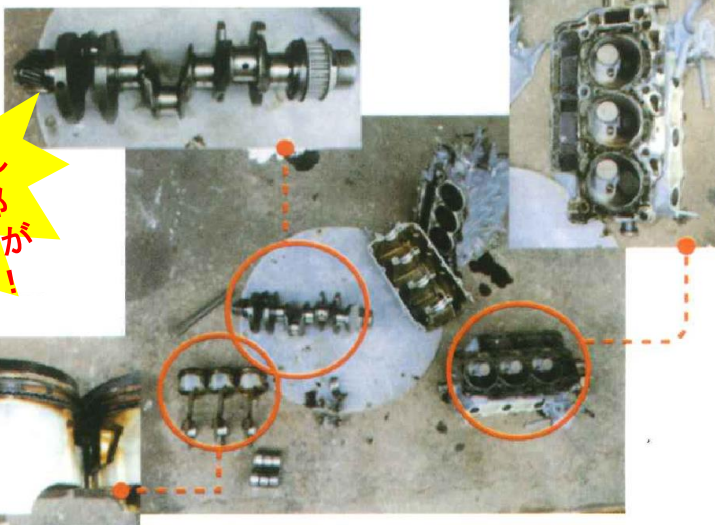
整備・点検を行うことにより次のようなメリットがあります。

- ★船体各部の状態を把握することができます。
- ★不具合箇所を早めに整備することで、トラブルの防止に繋がります。

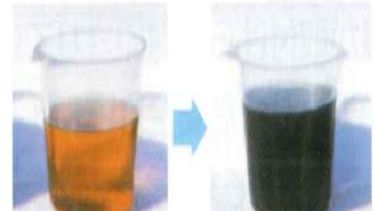
① エンジンオイル、エンジンオイルフィルターの定期点検 (船外機・船内機共通)

エンジンオイルは、エンジン内部の潤滑、密封、防錆といった役割を果たしていますが、使用本来の役割が果たせず時間の経過とともに劣化するため、故障の原因になります。**性能が低下するので、一定時間毎全量交換をお勧めします。同様に各フィルターについても交換や清掃が必要です。併せて点検しましょう。**

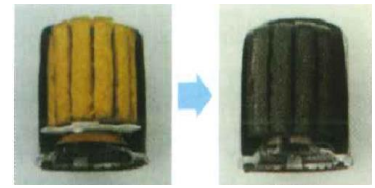
※交換の目安 エンジンオイル⇒A重油 250時間/軽油 500時間
エンジンオイルフィルタ⇒オイル全量交換時に合わせて交換をお勧めします



エンジンオイルの劣化に起因したエンジン内部の焼付け事故が起きています!



エンジンオイルの劣化



エンジンオイルフィルターの劣化



新品

消耗例

② 防食亜鉛(アノード)の交換

防食亜鉛は、自ら腐食することで金属部の腐食を防止する働きをしています。交換を怠ると、**船体・エンジンの金属の腐食を促進します**ので定期的な交換がお勧めです。

※亜鉛が1/2以上減っているものは交換をお勧めします

第二管区海上保安本部 海の安全推進室

宮城県塩釜市貞山通3-4-1
(代表) 022-363-0111
(直通) 022-365-9609

マリレ情報よろず屋URL>>> <http://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/yorozuya/index.html>

🔍 マリレよろず屋 検索

③海水ポンプ(インペラ)の点検

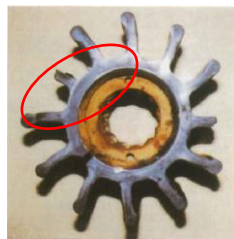
海水ポンプは、エンジン内部へ冷却水(海水)を送る重要な役目をしています。ビニール等の吸い込みによるインペラの破損は、エンジンを冷やせなくなりオーバーヒートの要因になります。**インペラ等の消耗品は、運転時間や使用期間に応じた交換をお勧めします。**なお、点検が難しい場合は、整備業者さんに点検を依頼しましょう。※交換の目安 年に1回程度



正常なインペラ



磨耗と破損したインペラ

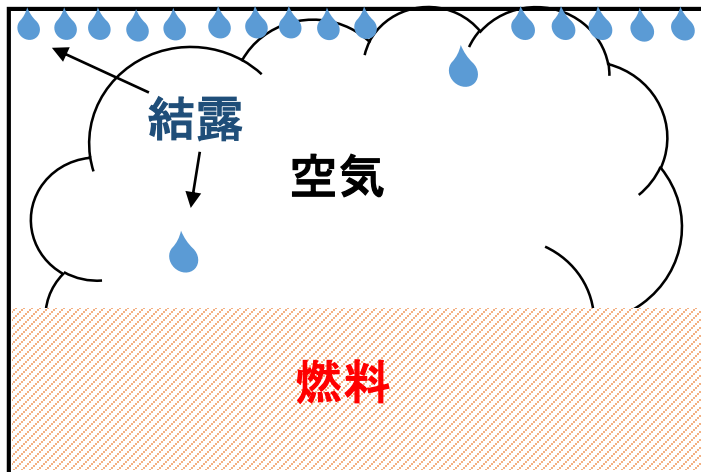


インペラの破損



④長期保管中は燃料を満タンに!

長期間使用しないときは、エンジンの大敵である水が混入しないよう完全に燃料を抜く方法と満タンにしておく方法の2パターンあります。冬期タンクが大きい場合は、満タンにする方法が有効です。タンクが冷やされることにより、タンク内の空気に含まれている水分が結露となり、燃料に水が混入してしまいます。**タンク容量一杯にまで燃料を満たして、空気を排除しましょう。**



タンク内の様子

主によく起きる故障箇所の定期点検について記載していますが、船やメーカーによって交換部品や時期、点検事項が異なります。詳細は、取り扱い説明書やマニュアルに従ってください。



機関故障を未然に防止するためには、定期的に整備・点検を行うことが最も重要です!

※写真提供『(一社)日本船用機関整備協会』



マリレ情報よろず屋
～バックナンバーはこちら～

海の安全情報スマホ版
サイトはこちら

